

経営体育成基盤整備事業

こうせいなんぷいち

甲西南部1地区



事業目的 農業の生産基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路、道路の整備、耕地の集団化を総合的に実施し、高性能機械の効率的な運行と適正な水管理を行える生産性の高い条件に整備し、地域農業の中心となる経営体を育成・確保することにより、経営規模拡大と農地の集積を進め効率的・安定的な農業構造の確立と農村の活性化を目的とする。

地区概要

所在地：湖南市 針、平松、柑子袋
 主要工事：区画整理 48.4 ha
 総事業費：1,599百万円
 工期：平成13年度～平成30年度

事業実施状況

- ・小区画であった農地の区画形質が改善
 → 高性能機械の導入による農作業の効率化
- ・用排水路整備により適正な水管理
 → 水稲以外の大豆・小麦の生産促進

事業の効果

・効率的な農業経営

事業完了後、各地域で集落営農法人が設立され、大型機械の導入や農地集積が促進された。

現在、地域の大部分の農地が担い手(集落営農法人や農業法人)に集積され、さらに効率的な農業経営が行われている。

作付面積(大豆・小麦)

| 事業前(H12) | 計画(H21) | 完了時実績(H30) | 現在(R5) |
|----------|---------|------------|---------|
| 3.4 ha | 12.1 ha | 10.7 ha | 13.4 ha |

農地の利用集積状況(集積率)

| 事業前(H12) | 完了時(R2) | 完了時実績(H30) | 現在(R6) |
|----------|---------|------------|--------|
| 0% | 83.3% | 83.3% | 99.3% |

集落営農法人の効率的な営農(出役による共同作業)



大型機械による田植え(作業時間の短縮)



大型機械による小麦の収穫(作業時間の短縮)

平面図



整備前後



効率的な営農が可能となった大区画ほ場

地域の方々の声

集落営農で大型機械での作業ができるようになり、今までより効率よく営農ができるようになった。

今後の課題

地区内の高齢化が進む中で、農業者と地域住民が共同して行っている畦畔の草刈り等の作業が難しくなることが見込まれるため、これらの作業が継続できるよう、管理体制の再構築が必要である。